認知症の人の出すサインに気づくポイント

印西市認知症初期集中支援チーム
老人看護専門看護師　齋藤多恵子
2021年3月25日（水）地域ケア会議

そもそも認知症とは何か

慢性あるいは進行性の脳の疾患によって、
記憶、思考、見当識、理解、計算、学習などの脳の機能が障害され、
<u>生活する上で支障がある状態を言い</u>
<u>それが意識障害のないときにみられる</u>

認知症疾患治療ガイドライン2010

認知症の原因になりうる疾患

- 脳腫瘍
- 正常圧水頭症
- 内分泌異常（ホルモン異常）
- 感染
- 臓器不全
- アルコール依存
- 薬物中毒
- 反復性低血糖
- 低酸素脳症
- 自己免疫疾患

認知症の人へ早期に支援を開始する理由

- 認知症症状を起こす疾患には治療可能なものがあるから
- アルツハイマー病は治療に導くことができないから
- 医療・福祉サービスの利用に本人の意思を反映させられるから
- 将来を考え、心構えをしておけるから
- 合併症への治療にさまざまな工夫ができるから

認知症によるもの忘れと加齢によるもの忘れ

認知症によるもの忘れ	加齢によるもの忘れ
体験したエピソードそのものを忘れる	体験したエピソードの中の一部を忘れる
忘れたことを自覚していない	忘れたことを自覚している
探し物は誰かに盗られたという	探し物は努力して見つけようとする
年月日、曜日、季節がわからなくなる	年月日、曜日、季節をたまに間違える
話しのつじつまを合わせるために作り話をする	作り話はしない
ヒントを出しても思い出せない	ヒントを出すと思い出せる
ものごとを判断できない	ものごとを判断できる

参考文献：高瀬義昌監著「すぐに役立つ認知症の治療とケア」じほう、2011

＊どちらも混在してることが多い

認知症の中核症状と行動心理症状

Behavioral and Psychological Symptom of Dementia
行動・心理症状
認知症によって頻繁にみられる近く、思考内容、気分、行動の障害

国際老年精神医学会定義

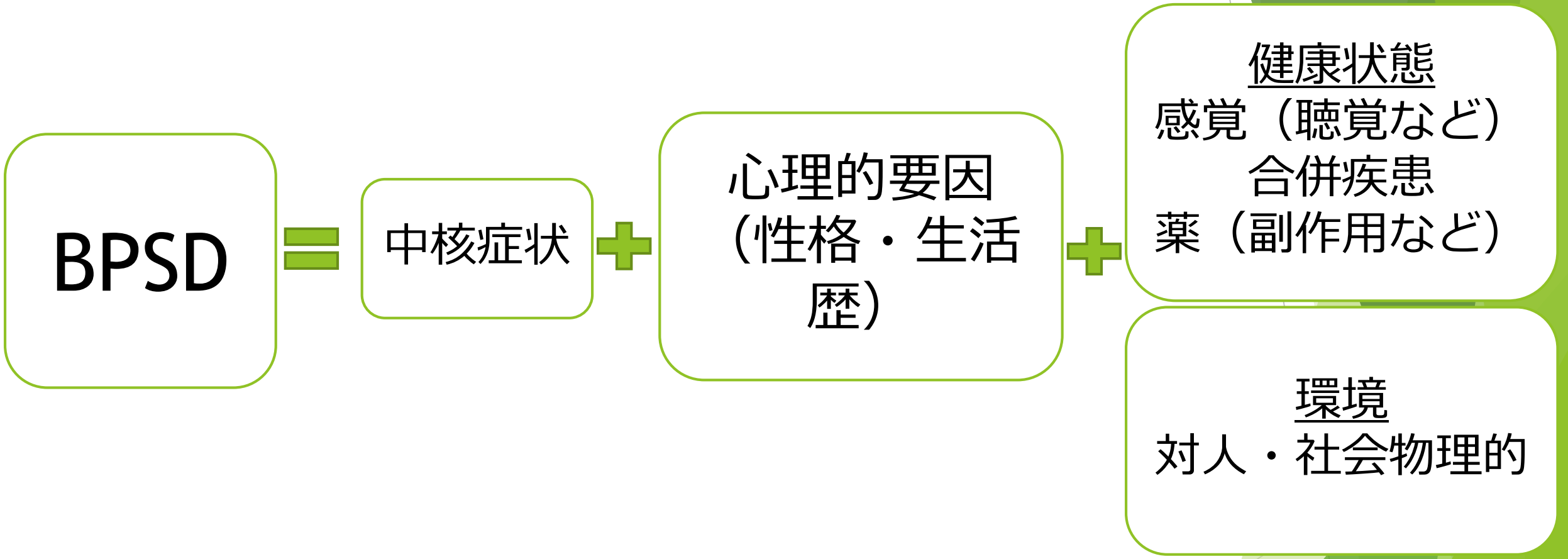
中核症状
必発
脳の細胞が脱落することが直接の原因
症状
記憶障害・実行機能障害・失行・失認・
見当識障害・言語に関する障害

生活上の問題
今までやれていたことができなくなる

行動・心理症状（BPSD）
必ず起こるわけではない

身体的攻撃性・喚声・不穏・焦燥・
徘徊・性的脱抑制・収集癖・
ののしり・つきまとい・
シャドーイングなどの行動症状

不安・抑うつ気分・幻覚・妄想など
の心理症状


BPSD
=
中核症状
+
心理的要因
（性格・生活歴）
+
健康状態
感覚（聴覚など）
合併疾患
薬（副作用など）
環境
対人・社会物理的

認知症の人の心理的特徴

揺れ動く感情
聞いてないのにさっきも言った
といわれる
無性に腹立たしい

焦燥感
いくら探してもみつからない
思い通りに事が運ばない

慢性的な不快感
思い出せそうで思い出せない
思ったことが口に出ない

混乱
言われていることがわからない
何をすればよいのかわからない

自発性の低下とうつ状態
何をやっても怒られる
何故怒られるかがわからない

被害妄想
確かにしまったはずのものがない
あの人が疑わしい

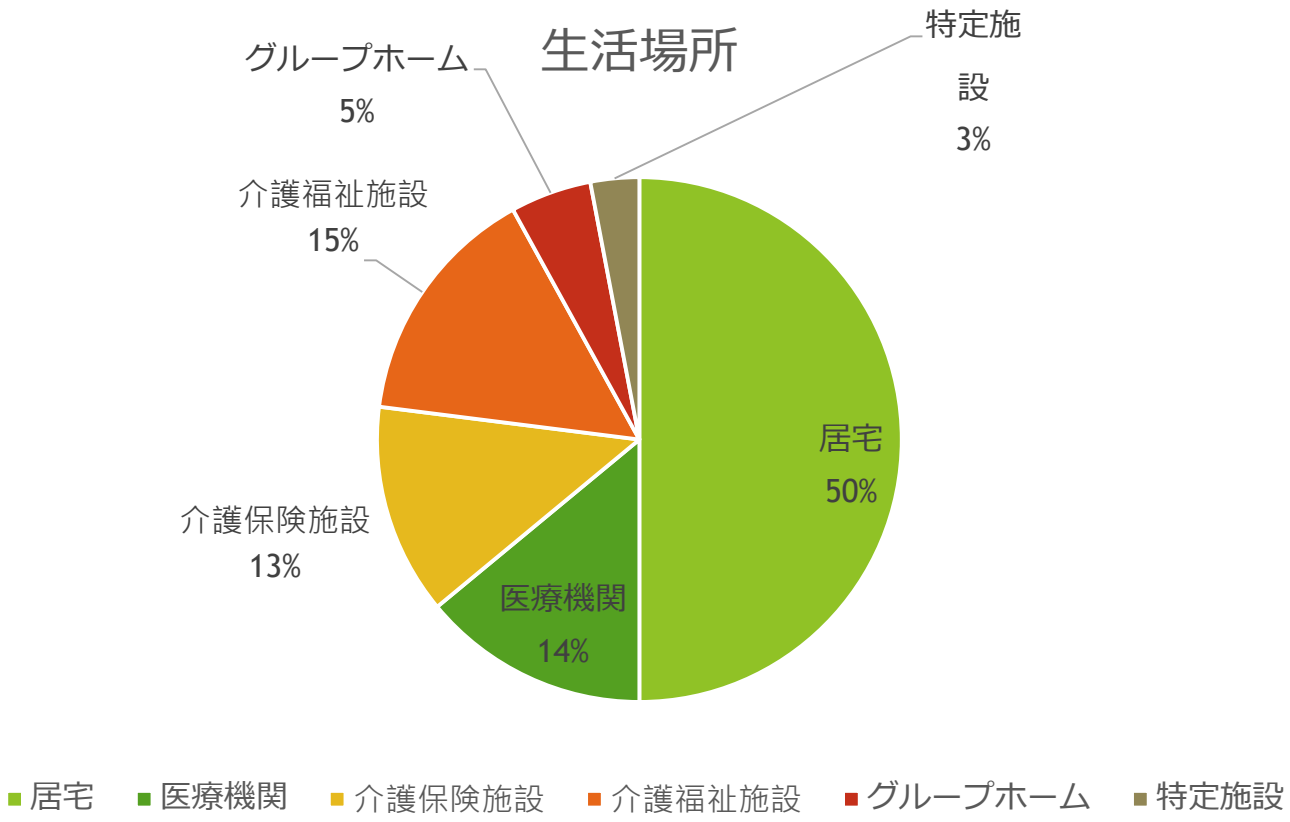
加藤伸司：認知症の人の視点から考えるBPSD
老年精神医学雑誌,27,159(2016)

認知症を疑ったときに受診をためらう理由

1.認知症ではない可能性がある
2.本人のプライドを傷つける
3.認知症は病気ではない
4.問題が起きないと何もしてもらえない
5.どこの病院にいけばよいか分からない
6.認知症は治らない
7.認知症と診断されるのが怖い

老年精神医学雑誌,18(11):1224-1233(2007)

認知症の人はどこで生活しているか



2010年9月280万人の認知症高齢者

日常生活場面別
認知症の人の早期発見のポイント

- 日常生活場面別発見のポイント

店舗編

- タクシーを呼んでおきながらそれを忘れて帰る
- 不自然な服装で来店するようになった
- 支払いていつも高額紙幣を出すようになった
- 財布の中に小銭がいっぱい
- 支払いに手間取るようになった
- 同じ質問を繰り返すようになった

家庭内編

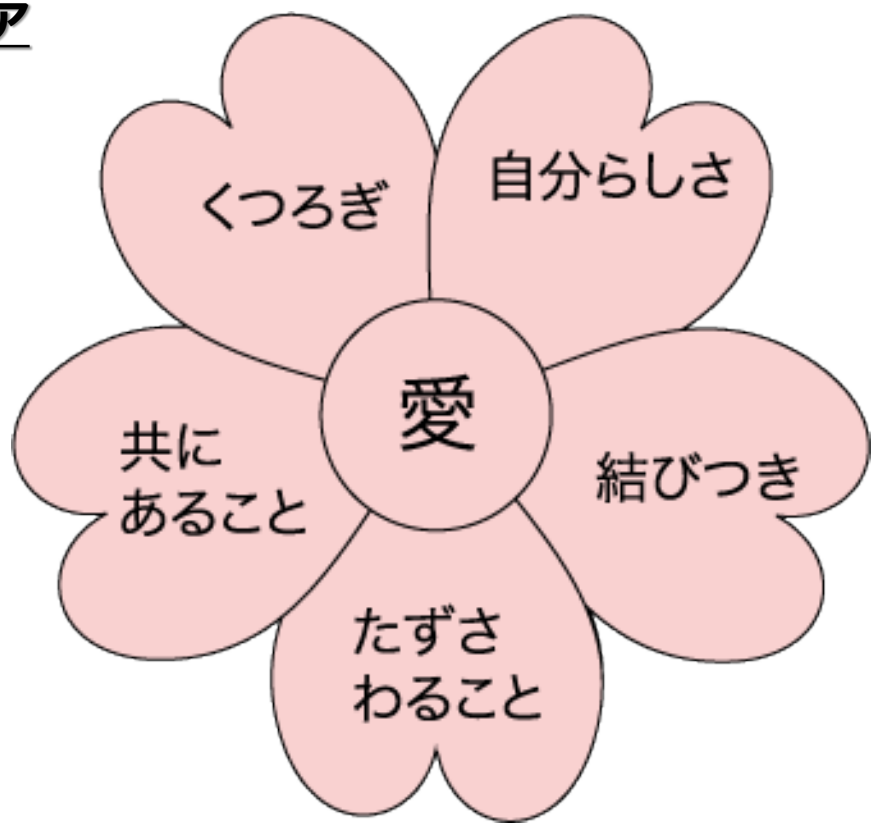
- 着替えがえるのに前よりも時間がかかる
- お風呂に入る、外出など時に声掛けしないと行動しない
- 日課をしなくなった
- 週1回くらいの頻度で身近なものを置いた場所を忘れるが考えれば思い出せる
- 数日前のことは覚えているが、1週間前のことは覚えていない
- 静かに座っていられるがそわそわした様子をみせる
- 些細なことで怒りっぽくなった
- 内服薬を自分で用意して服薬できるが、たまに服薬し忘れる
- 自分で食事をとることができるが、食べこぼしなどがある
- トイレを時々汚してしまう

ご近所編

- ゴミ出しの日を間違える
- 最近、町内会の会合にも来なくなった
- 服装が前と違う
- 「監視されている」「嫌がらせをされている」などと話していた
- 前よりも複雑な会話ができなくなってきた
- 何度も同じ話をする

認知症の人が望んでいるケア

パーソン・センタードケア



互いに重なり合い、関連しあっている。

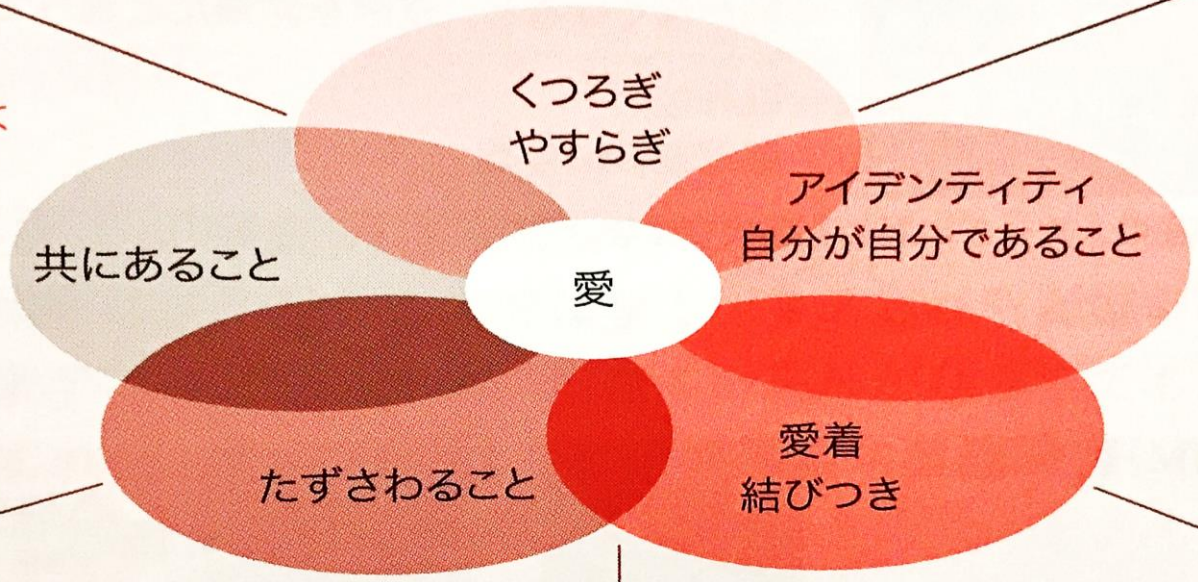
愛・・・あるがままに受けいれ、心から思いやり、慈しむ

PE1：思いやり（やさしさ・温かさ）
PE2：包み込むこと
PE3：リラックスできるペース

PD1：怖がらせること
PD2：後回しにすること
PD3：急がせること

PE14：個性を認めること
PE15：共にあること
PE16：一員として感じられるようにすること
PE17：いっしょに楽しむこと

PD14：差別すること
PD15：無視すること
PD16：除け者にすること
PD17：あざけること



PE4：尊敬すること
PD4：子ども扱いすること

PE5：受け入れること
PD5：好ましくない区分け（レッテル付け）をすること

PE6：喜び合うこと
PD6：侮辱すること

PE10：能力を発揮できるようにすること
PE11：必要とされる支援をすること
PE12：かかわりを継続できるようにすること
PE13：共に行うこと

PD10：能力を使わせないこと
PD11：強制すること
PD12：中断させること
PD13：物扱いすること

PE7：尊重すること
PE8：誠実であること
PE9：共感をもってわかろうとすること

PD7：非難すること
PD8：だましたり、あざむくこと
PD9：わかろうとしないこと

個人の価値を低める行為（PD）と個人の価値を高める行為（PE）

ブラッドフォード大学認知症ケアグループ：DCM8版マニュアル理念と実践認知症介護研究・研修大附センター，2012

出典：

- 日本認知症ケア学会監：地域における認知症対応実践講座Ⅰ．　第3版
- ブラッドフォード大学認知症ケアグループ：DCM8版マニュアル理念と実践認知症介護研究・研修大附センター，2012
- 認知症ケア学会：認知症ケアの基礎4版